MRAグラインダ

取扱説明書

型式 MRA-PG50200 MRA-PG40103
MRA-PG50265 MRA-PG75290
MRA-PG50200L MRA-PG290L500
MRA-PG50265L MRA-PG50290N
MRA-PG50210 MRA-PG50280R
MRA-PG50210LS MRA-PG50281R
MRA-PG502115 MRA-PG5E261R
MRA-PG35120A

このたび、MRAグラインダをお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの説明書をお読みいただき、充分に理解された上で作業に入って下さい。

お買い上げの製品またはこの取扱説明書の内容につきまして、ご質問がある場合は、最寄の弊社機械工具部までご遠慮なくお問合わせください。

1．安全にご使用いただくために

「MRAグラインダ」を安全にご使用いただくには正しい操作が不可欠です。
この取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分に理解された上で作業に入って下さい。
この取扱説明書に示されている操作法および安全に関する注意事項は、「MRAグラインダ」指定の使用目的に使用する場合のみに関するものです。
この取扱説明書に書かれていない使用法を行う場合にその作業に必要な安全に対する配慮を充分に取って下さい。（弊社の予想外の作業に対する責任は負いかねます。）
この取扱説明書では、注意していただきたいこと、安全や保全に関することは「⚠警告」または「⚠注意」という見出しで記載してあります。

2．据え付け

2-1．仕　様

型式	最高回転数	供給空気圧力 (MPa)	空気消費量 ℓ/min(ANR)	ﾁｬｯｷﾝｸﾞ能力 (mm)	ホース接続口 (エア源側)	排気方法	レバー方式	本体質量 (g)
MRA-PG50200	22,000 min⁻¹	0.6 +0.1 -0.1	280	φ6	Rc1/4	後方	ON↔OFF レバー	680
MRA-PG50265	3,600 min⁻¹	0.6 +0.1 -0.1	280	φ6	Rc1/4	後方	ON↔OFF レバー	760
MRA-PG50200L	22,000 min⁻¹	0.6 +0.1 -0.1	300	φ6	Rc1/4	後方	ON↔OFF レバー	700
MRA-PG50265L	3,600 min⁻¹	0.6 +0.1 -0.1	330	φ6	Rc1/4	後方	ON↔OFF レバー	1,700
MRA-PG50210	18,000 min⁻¹	0.6 +0.1 -0.1	280	φ6	Rc1/4	後方	ON↔OFF レバー	700
MRA-PG50210LS	11,000 min⁻¹	0.6 +0.1 -0.1	330	φ6	Rc1/4	後方	ON↔OFF レバー	700
MRA-PG502115	18,000 min⁻¹	0.6 +0.1 -0.1	280	φ6	Rc1/4	後方	ON↔OFF レバー	700
MRA-PG40103	22,000 min⁻¹	0.6 +0.1 -0.1	260	φ6	Rc1/4	前方	ON↔OFF レバー	680
MRA-PG75290	23,000 min⁻¹	0.6 +0.1 -0.1	330	φ6・φ8	Rc1/4	後方	ON↔OFF レバー	740
MRA-PG290L500	22,000 min⁻¹	0.6 +0.1 -0.1	330	φ6・φ8	Rc1/4	後方	ON↔OFF レバー	1,800
MRA-PG50290N	24,000 min⁻¹	0.6 +0.1 -0.1	300	φ6	Rc1/4	側方	ON↔OFF レバー	600
MRA-PG50280R	24,000 min⁻¹	0.6 +0.1 -0.1	330	φ6	Rc1/4	側方	ON↔OFF バルブ	560
MRA-PG50281R	24,000 min⁻¹	0.6 +0.1 -0.1	330	φ6	Rc1/4	前方	ON↔OFF バルブ	560
MRA-PG5E261R	24,000 min⁻¹	0.6 +0.1 -0.1	330	φ6	Rc1/4	前方	ON↔OFF バルブ	900
MRA-PG35120A	25,000 min⁻¹	0.6 +0.1 -0.1	240	φ6	Rc1/4	後方	ON↔OFF レバー	400

MRAグラインダの取り扱いには、充分に注意を払ってください。

⚠警告

- 保護具（眼鏡、耳栓、保護帽、マスク、手袋）を着用しないとケガをする恐れがあります。
- エアグラインダ本体とエアホースの接続は確実に行ってください。エアグラインダ本体がエアホースからはずれ、はずれたホースでケガをする恐れがあります。
- 作業中の先端部には絶対にさわらないでください。

①作業時は眼鏡、耳栓、保護帽、マスク、手袋を着用してください。
②配管は間違いのないように確認しながら作業を進めてください。
③回転した状態で放置しないでください。

⚠警告

- 狭い空間での作業には換気に注意し、排気や切粉等が目や口に入らないようにしてください。
- 回転した状態で放置しないでください。
- ボディ部を強くクランプすると、回転不良になる恐れがあります。

3．空気配管

3-1．供給空気について

供給する空気圧力は0.5～0.7MPa標準とします。特に0.7MPaを越える空気圧力は、本体への寿命に悪影響を与えますので供給しないでください。

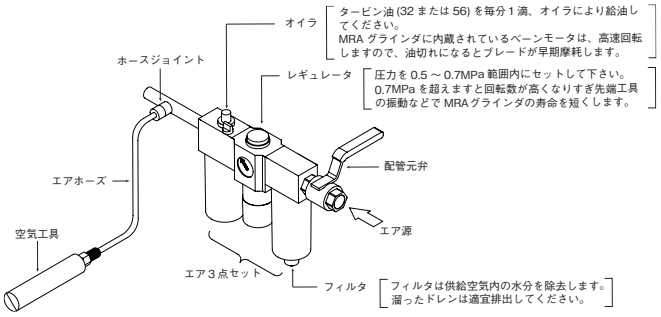
⚠注意

エア３点セットを使用しタービン油 (32 または 56) を毎分１滴給油してください。
給油しないと振動や発熱が生じ早期に故障します。
供給空気圧力は0.5～0.7MPaで使用してください。

総発売元 株式会社ムラキ

〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目9の10 ☎(03)3273-7511(代) FAX(03)3281-2243
〒542-0081 大阪府中央区南船場1丁目16の20 ☎(06)6262-5923(代) FAX(06)6262-5927
〒461-0001 名古屋市東区泉1丁目20の4 ☎(052)962-3336(代) FAX(052)962-3339
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-18-23 ☎(092)474-4030(代) FAX(092)474-4054

3-2. 配管について
MRAグラインダへの配管途中には必ずエア３点セットを設置してください。



４．工具の交換要項

⚠ 警告

・工具の交換時配管元弁を必ず締めて下さい。
・アンバランスのある先端工具を使用すると、振動、発熱の原因となり早期に故障します。
・工具の着脱の際には必ず付属品のスパナを使用してください。他のスパナを使用すると、コレット、スピンドル等が早期に破損します。
・工具を取付ける際にはオーバーハングを 13mm 以下で使用してください。オーバーハング 13mm 以上で使用すると振動が発生し早期に故障します。
・軸付砥石は JIS および砥石メーカの指定周速度を越えない範囲でご使用ください。
・切断用ホイールやカッタホイールは絶対に使用しないでください。

4-1. 工具の交換方法
(1) 付属のスパナをスピンドルのスパナ掛け部に装着します。
(2) 付属のスパナをコレットに装着します。
(3) スパナを手で保持しながらスパナを反時計方向に回して、コレットをゆるめ使用済工具を抜き取ります。
(4) 別の工具を準備しコレットに挿入します。
(5) オーバーハングを 13mm 以下にセットし、上記 (1)(2) 項の状態でボックススパナを時計方向に回して工具を固定します。

５．運　転

5-1. 用　途
MRAグラインダは先端工具を使用して各種加工物のバリ取仕上げ、面取仕上げ等の加工を行うエアグラインダです。

5-2. ご使用時の注意事項
・MRA グラインダの操作はしかるべき訓練を受けた後､行ってください。
・共同作業を行う場合は定められた合図に基づいて作業してください。
・作業時は眼鏡、耳栓、保護帽、マスク、手袋等保護具を身につけて行ってください。保護具を使用しないとケガをする恐れがあります。

⚠ 注意

①コレットに先端工具を取り付ける際には必ず付属のスパナを使用し締め付けてください。
②MRAグラインダを使用中、落下させると早期に故障します。
③排気方向に注意してください。

5-3. 構成と機能
・本体
高性能なベーンモータを内蔵しスピンドルを高速回転します。
・コレット
先端工具をチャッキングします。

5-4. 作業前の点検
(1) コレット
コレットは作業前および作業終了時点検し、先端工具がスムースに着脱できるか点検してください。
コレットの摩耗やチャッキング不良がある場合は新品のコレットに交換してください。
(2) 本体
本体は作業前および作業終了時点検し、レバーの「ON」↔「OFF」操作によって回転と停止ができるか点検してください。
異常があれば修理の実施か新品を購入してください。
(3) メインエアの供給圧が 0.5 ～ 0.7MPa の範囲内か確認してください。
(4) 初めて使用する際には供給圧で 0.4 ～ 0.5MPa でタービン油を 10 分間毎に数滴給油し、30 分間以上慣らし運転をしてください。
(5)MRAグラインダに内蔵されているベーンモータは高速回転しますので、油切れになるとブレード（羽根）が早期に摩耗します。
MRAグラインダの配管途中には必ずエア３点セットを設置し、タービン油(32または56)を毎分１滴供給してください。
(6) MRAグラインダを回転させる前に、先端工具の芯振れがないか確認してください。

⚠ 注意

お買上げ後、初めて使用する場合は、下記条件で充分な慣らし運転をしてください。
①供給空気圧：0.4 ～ 0.5MPa
②タービン油(32 または 56)を 10 分毎に数滴給油
③慣らし運転で 30 分間以上

5-5. 操　作
(1) コレットに先端工具を取り付けてください。
(2) グラインダ本体をエア源に接続してください。
(3) レバーを ON 側に押しスピンドルを回転させ、バリ取り作業等を行ってください。
(4) バリ取り作業終了後レバーを OFF 側にもどし、回転を停止させてください。
(5) グラインダ本体をエア源から取り外してください。

5-6. 作業終了後の整備・保管
用意するもの：ウエス、防錆油
(1) コレット
コレットをエアブローしたり、ウエスで拭いてください。
防錆油を塗布して保管してください。
(2) 本体
コレット装着部のスピンドル内面はエアブローしたりウエスで拭いてください。
防錆油を塗布して保管してください。
(3) エアホース取付部
接続口から砂や切粉がホース内部へ侵入しないようにして、ツールボックスに保管してください。
(4) 保管場所
湿気、水、塵埃の多い場所を避けてください。

⚠ 注意

本製品をエア配管から外す場合、エア圧力を「0」にしてから行ってください。

MRAグラインダ

型式　MRA-PG06252H

取扱説明書

このたび、MRAグラインダをお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの説明書をお読みいただき、充分に理解された上で作業に入って下さい。

お買い上げの製品またはこの取扱説明書の内容につきまして、ご質問がある場合は、最寄の弊社機械工具部までご遠慮なくお問合わせください。

1．安全にご使用いただくために

「MRAグラインダ」を安全にご使用いただくには正しい操作が不可欠です。
この取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分に理解された上で作業に入って下さい。
この取扱説明書に示されている操作法および安全に関する注意事項は、「MRAグラインダ」指定の使用目的に使用する場合のみに関するものです。
この取扱説明書に書かれていない使用法を行う場合にその作業に必要な安全に対する配慮を充分に取って下さい。（弊社の予想外の作業に対する責任は負いかねます。）
この取扱説明書では、注意していただきたいこと、安全や保全に関することは「⚠警告」または「⚠注意」という見出しで記載してあります。

2．据え付け

2-1．仕　様

型式	最　高 回転数	供　給 空気圧力 (MPa)	空　気 消費量 ℓ/min(ANR)	ﾁｬｯｷﾝｸﾞ 能　力 (mm)	ホース 接続口 (エア源側)	排気 方法	レバー 方　式	本体 質量 (g)
MRA-PG06252H	18,000 min^{-1}	0.6 $^{+0.1}_{-0.1}$	280	φ6	Rc1/4	後方	ON↔OFF レバー	900

MRAグラインダの取り扱いには、充分に注意を払ってください。

⚠警告

- 保護具（眼鏡、耳栓、保護帽、マスク、手袋）を着用しないとケガをする恐れがあります。
- エアグラインダ本体とエアホースの接続は確実に行ってください。エアグラインダ本体がエアホースからはずれ、はずれたホースでケガをする恐れがあります。
- 作業中の先端部には絶対にさわらないでください。

①作業時は眼鏡、耳栓、保護帽、マスク、手袋を着用してください。
②配管は間違いのないように確認しながら作業を進めてください。
③回転した状態で放置しないでください。

⚠警告

- 狭い空間での作業には換気に注意し、排気や切粉等が目や口に入らないようにしてください。
- 回転した状態で放置しないでください。
- ボディ部を強くクランプすると、回転不良になる恐れがあります。

3．空気配管

3-1．供給空気について

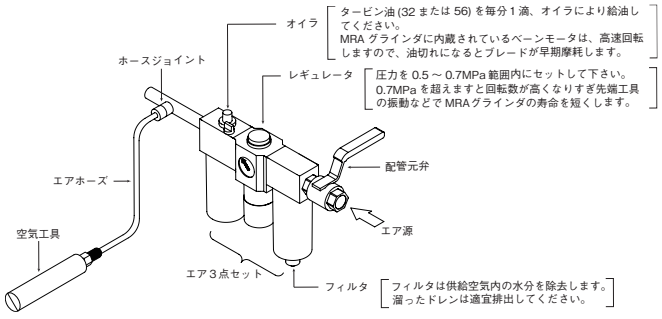
供給する空気圧力は0.5～0.7MPa標準とします。特に0.7MPaを越える空気圧力は、本体への寿命に悪影響を与えますので供給しないでください。

⚠注意

エア３点セットを使用しタービン油 (32 または 56) を毎分１滴給油してください。
給油しないと振動や発熱が生じ早期に故障します。
供給空気圧力は0.5 ～ 0.7MPaで使用してください。

3-2．配管について

MRAグラインダへの配管途中には必ずエア３点セットを設置してください。



4．工具の交換要項

⚠警告

- 工具の交換時配管元弁を必ず締めて下さい。
- アンバランスのある先端工具を使用すると、振動、発熱の原因となり早期に故障します。
- 工具の着脱の際には必ず付属品のスパナを使用してください。他のスパナを使用すると、コレット、スピンドル等が早期に破損します。
- 工具を取付ける際にはオーバーハングを 13mm 以下で使用してください。オーバーハング 13mm 以上で使用すると振動が発生し早期に故障します。
- 軸付砥石は JIS および砥石メーカの指定周速度を越えない範囲でご使用ください。
- 切断用ホイールやカッタホイールは絶対に使用しないでください。

総発売元　株式会社ムラキ

〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目9の10　☎(03)3273-7511(代)　FAX(03)3281-2243
〒542-0081 大阪府中央区南船場1丁目16の20　☎(06)6262-5923(代)　FAX(06)6262-5927
〒461-0001 名古屋市東区泉1丁目20の4　☎(052)962-3336(代)　FAX(052)962-3339
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-18-23　☎(092)474-4030(代)　FAX(092)474-4054

4-1. 工具の交換方法
(1) 付属のスパナをスピンドルのスパナ掛け部に装着します。
(2) 付属のスパナをコレットに装着します。
(3) スパナを手で保持しながらスパナを反時計方向に回して、コレットをゆるめ使用済工具を抜き取ります。
(4) 別の工具を準備しコレットに挿入します。
(5) オーバーハングを 13mm 以下にセットし、上記 (1)(2) 項の状態でボックススパナを時計方向に回して工具を固定します。

5．運　転

5-1. 用　途
MRAグラインダは先端工具を使用して各種加工物のバリ取仕上げ、面取仕上げ等の加工を行うエアグラインダです。

5-2. ご使用時の注意事項
・MRA グラインダの操作はしかるべき訓練を受けた後､行ってください。
・共同作業を行う場合は定められた合図に基づいて作業してください。
・作業時は眼鏡、耳栓、保護帽、マスク、手袋等保護具を身につけて行ってください。保護具を使用しないとケガをする恐れがあります。

⚠ 注意

①コレットに先端工具を取り付ける際には必ず付属のスパナを使用し締め付けてください。
②MRAグラインダを使用中、落下させると早期に故障します。
③排気方向に注意してください。

5-3. 構成と機能
・本体
高性能なベーンモータを内蔵しスピンドルを高速回転します。
・コレット
先端工具をチャッキングします。

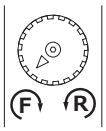
5-4. 作業前の点検
(1) コレット
コレットは作業前および作業終了時点検し、先端工具がスムースに着脱できるか点検してください。
コレットの摩耗やチャッキング不良がある場合は新品のコレットに交換してください。
(2) 本体
本体は作業前および作業終了時点検し、レバーの「ON」↔「OFF」操作によって回転と停止ができるか点検してください。
異常があれば修理の実施か新品を購入してください。
(3) メインエアの供給圧が 0.5 ～ 0.7MPa の範囲内か確認してください。
(4) 初めて使用する際には供給圧で 0.4 ～ 0.5MPa でタービン油を 10 分間毎に数滴給油し、30 分間以上慣らし運転をしてください。
(5)MRAグラインダに内蔵されているベーンモータは高速回転しますので、油切れになるとブレード（羽根）が早期に摩耗します。
MRAグラインダの配管途中には必ずエア 3 点セットを設置し、タービン油(32または56)を毎分 1 滴供給してください。
(6) MRAグラインダを回転させる前に、先端工具の芯振れがないか確認してください。

⚠ 注意

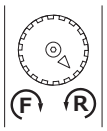
お買上げ後、初めて使用する場合は、下記条件で充分な慣らし運転をしてください。
①供給空気圧：0.4 ～ 0.5MPa
②タービン油(32 または 56)を 10 分毎に数滴給油
③慣らし運転で 30 分間以上

5-5. 操　作
(1) コレットに先端工具を取り付けてください。
(2) グラインダ本体をエア源に接続してください。
(3) レバーを ON 側に押しスピンドルを回転させ、バリ取り作業等を行ってください。
(4) バリ取り作業終了後レバーを OFF 側にもどし、回転を停止させてください。
(5) グラインダ本体をエア源から取り外してください。

5-6. 回転方向
正転（右回転）・逆転（左回転）は図のダイヤルで変更を行います。



正回転時はダイヤルをＦに合わせてください。

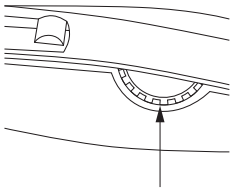


逆回転時はダイヤルをＲに合わせてください。

⚠ 注意

①回転中に正転・逆転の変更を行わないでください。
②回転方向ダイヤルは、FもしくはRに確実に合わせてください。工具の飛散・本体破損の原因になります。
③逆回転で使用する場合は、特に工具の緩みに注意してください。

5-7. 流量調整


レバー側の流量調整ダイヤルで流量の調整が行えます。

5-8. 作業終了後の整備・保管
用意するもの：ウエス、防錆油
(1) コレット
コレットをエアブローしたり、ウエスで拭いてください。
防錆油を塗布して保管してください。
(2) 本体
コレット装着部のスピンドル内面はエアブローしたりウエスで拭いてください。
防錆油を塗布して保管してください。
(3) エアホース取付部
接続口から砂や切粉がホース内部へ侵入しないようにして、ツールボックスに保管してください。
(4) 保管場所
湿気、水、塵埃の多い場所を避けてください。

⚠ 注意

本製品をエア配管から外す場合、エア圧力を「0」にしてから行ってください。

MRAエアリムーブサンダ

型式　MRA-PG280　　MRA-PG2943

取扱説明書

このたび、MRAエアリムーブサンダをお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの説明書をお読みいただき、充分に理解された上で作業に入って下さい。

お買い上げの製品またはこの取扱説明書の内容につきまして、ご質問がある場合は、最寄の弊社機械工具部までご遠慮なくお問合わせください。

1．安全にご使用いただくために

「MRAエアリムーブサンダ」を安全にご使用いただくには正しい操作が不可欠です。
この取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分に理解された上で作業に入って下さい。
この取扱説明書に示されている操作法および安全に関する注意事項は、「MRAエアリムーブサンダ」指定の使用目的に使用する場合のみに関するものです。
この取扱説明書に書かれていない使用法を行う場合にその作業に必要な安全に対する配慮を充分に取って下さい。（弊社の予想外の作業に対する責任は負いかねます。）
この取扱説明書では、注意していただきたいこと、安全や保全に関することは「⚠警告」または「⚠注意」という見出しで記載してあります。

2．据え付け

2-1．仕　様

型式	最高回転数	供給空気圧力 (MPa)	空気消費量 ℓ/min(ANR)	チャッキング能力 (inch)	ホース接続口 (エア源側)	排気方法	レバー方式	本体質量 (g)	3軸合成値 m/s^2
MRA-PG280	4,000 min^{-1}	0.6 $^{+0.1}_{-0.1}$	330	4	Rc1/4	後方	ON↔OFF レバー	1,200	<2.5
MRA-PG2943	3,600 min^{-1}	0.6 $^{+0.1}_{-0.1}$	330	4	Rc1/4	後方	ON↔OFF レバー	1,100	<2.5

MRAエアリムーブサンダの取り扱いには、充分に注意を払ってください。

⚠警告

- 保護具（眼鏡、耳栓、保護帽、マスク、手袋）を着用しないとケガをする恐れがあります。
- エアリムーブサンダ本体とエアホースの接続は確実に行ってください。エアリムーブサンダ本体がエアホースからはずれ、はずれたホースでケガをする恐れがあります。
- 作業中の先端部には絶対にさわらないでください。

①作業時は眼鏡、耳栓、保護帽、マスク、手袋を着用してください。
②配管は間違いのないように確認しながら作業を進めてください。
③回転した状態で放置しないでください。

⚠警告

- 狭い空間での作業には換気に注意し、排気や切粉等が目や口に入らないようにしてください。
- 回転した状態で放置しないでください。
- ボディ部を強くクランプすると、回転不良になる恐れがあります。

3．空気配管

3-1．供給空気について

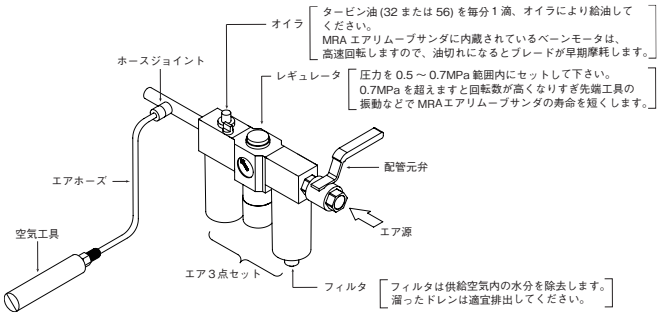
供給する空気圧力は0.5～0.7MPa標準とします。特に0.7MPaを越える空気圧力は、本体への寿命に悪影響を与えますので供給しないでください。

⚠注意

エア3点セットを使用しタービン油 (32 または 56) を毎分1滴給油してください。
給油しないと振動や発熱が生じ早期に故障します。
供給空気圧力は0.5～0.7MPaで使用してください。

3-2．配管について

MRAエアリムーブサンダの配管途中には必ずエア3点セットを設置してください。



総発売元　株式会社ムラキ

〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目9の10　☎(03)3273-7511(代)　FAX(03)3281-2243
〒542-0081 大阪府中央区南船場1丁目16の20　☎(06)6262-5923(代)　FAX(06)6262-5927
〒461-0001 名古屋市東区泉1丁目20の4　☎(052)962-3336(代)　FAX(052)962-3339
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-18-23　☎(092)474-4030(代)　FAX(092)474-4054

4．工具の交換要項

⚠ 警告

・工具の交換時配管元弁を必ず締めて下さい。
・アンバランスのある工具等を使用すると、振動、発熱の原因となり早期に故障します。
・工具の着脱の際には必ず付属品のスパナを使用してください。他のスパナを使用すると、スピンドル等が早期に破損します。
・専用工具以外は絶対に使用しないでください。

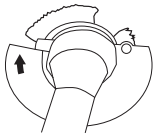
4-1．工具の交換方法

MRA-PG280

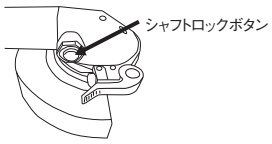
(1)工具及びブラシ用アダプタの6角部を本体シャフトの6角部に合わせ取り付けます。
ブラシは先にアダプタにセットしてください。
(2)工具を押さえ、ねじを締めこみ、固定します。
注：MRA-PG280にはシャフトロックボタンはありません。

MRA-PG2943

(1) あらかじめブラシをセットしたアダプタをシャフトに取り付けます。
この時、本体の回転方向を確認してください。

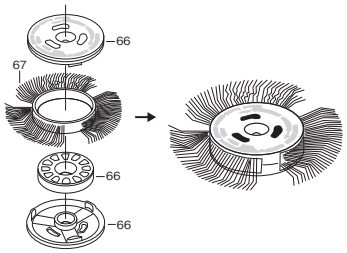


(2) シャフトロックボタンを押しこみシャフト、ブラシを固定した状態で、ディスクナットを締めこみ、固定します。



ブラシのセット方法

(1) アダプタにブラシをセットします。



5．運　転

5-1．用　途

MRAエアリムーブサンダは専用の工具を使用して各種加工物のバリ取仕上げ、塗装剥がし等の加工を行うエア作業工具です。

5-2．ご使用時の注意事項

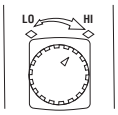
・MRA エアリムーブサンダの操作はしかるべき訓練を受けた後、行ってください。
・共同作業を行う場合は定められた合図に基づいて作業してください。
・作業時は眼鏡、耳栓、保護帽、マスク、手袋等保護具を身につけて行ってください。保護具を使用しないとケガをする恐れがあります。

⚠ 注意

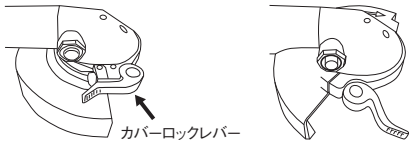
①工具を取り付ける際には必ず付属のスパナを使用し締め付けてください。
②MRAエアリムーブサンダを使用中、落下させると早期に故障します。
③排気方向に注意してください。

5-3．構成と機能

・本体
高性能なベーンモータを内蔵しスピンドルを高速回転します。
・機能
流量調整ダイヤル (MRA-PG280,MRA-PG2943)



安全カバー (MRA-PG2943 のみ)
カバーロックレバーを緩め、カバーを動かします。



グリップ (MRA-PG280 のみ)
時計回りで締り、反時計回りで緩みます。
作業しやすい位置で固定してください。

5-4．作業前の点検

(1) 本体
本体は作業前および作業終了時点検し、レバーの「ON」↔「OFF」操作によって回転と停止ができるか点検してください。異常があれば修理の実施か新品を購入してください。
(2) メインエアの供給圧が 0.5 ～ 0.7MPaの範囲内か確認してください。
(3) 初めて使用する際には供給圧で 0.4 ～ 0.5MPa でタービン油を 10 分間毎に数滴給油し、30 分間以上慣らし運転をしてください。
(4) MRAエアリムーブサンダに内蔵されているベーンモータは高速回転しますので、油切れになるとブレード（羽根）が早期に摩耗します。
MRAエアリムーブサンダの配管途中には必ずエア 3 点セットを設置し、タービン油(32または56)を毎分 1 滴供給してください。
(5) MRAエアリムーブサンダを回転させる前に、工具が確実に取りつけられているか確認してください。

⚠ 注意

お買上げ後、初めて使用する場合は、下記条件で充分な慣らし運転をしてください。
①供給空気圧：0.4 ～ 0.5MPa
②タービン油(32 または 56)を 10 分毎に数滴給油
③慣らし運転で 30 分間以上

5-5．操　作

(1) 本体に工具を確実に取り付けてください。
(2) MRA エアリムーブサンダ本体をエア源に接続してください。
(3) レバーを ON 側に押しスピンドルを回転させ、作業等を行ってください。
(4) 作業終了後レバーをOFF 側にもどし､回転を停止させてください。
(5) MRAエアリムーブサンダ本体をエア源から取り外してください。

5-6．作業終了後の整備・保管

用意するもの：ウエス、防錆油
(1) 本体
工具装着部の内面はエアブローしたりウエスで拭いてください。防錆油を塗布して保管してください。
(2) エアホース取付部
接続口から砂や切粉がホース内部へ侵入しないようにして、ツールボックスに保管してください。
(3) 保管場所
湿気、水、塵埃の多い場所を避けてください。

⚠ 注意

本製品をエア配管から外す場合、エア圧力を「0」にしてから行ってください。